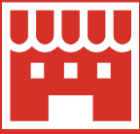


京都経済短期大学生協 餅つき企画

第203号



[店舗]

取り組み概要

日時：2023年1月12日（木）昼休み
場所：京都経済短期大学生協食堂
参加者数や組合員の反応：約150人分の餅が販売された。20名ほどが餅つきに参加し、食堂には笑顔が溢れていた。

背景や概要：京都経済短期大学生協では毎年恒例の餅つき企画を今年度も開催した。「コロナに負けないで」を合言葉に食堂には活気溢れる組合員の姿があった。

みんなで餅つき大会だ

POINT.1

あけましておめでとう！みんなで餅つきだ！



京都経済短期大学生協では毎年恒例行事の「餅つき企画」が今年も行われていました。昼休みの時間に食堂で、杵と臼を使い実際に餅をつき、できたての餅を丸めて提供していました。**大学が京都府による支援金を使って、生協の企画の支援をしてくださっていました。**そのため、組合員は1人2個まで無料で食べることができていました。

大学との連携ができており、**組合員が食堂に来る機会をつくり、組合員の笑顔を作る**ことができていました。

POINT.2

アットホームで温かい経短生協

京都経済短期大学生協は学生委員会がない生協ですが、学生委員と学生理事は14人います。2年制で入れ替わりも早く、学生が継続した企画を作ることは難しいです。そこで店長や教職員理事を中心に企画を運営しています。今回の餅つき企画では、当日の餅丸めや販売は学生委員や学生理事が中心に行いました。**教職員理事が積極的に声をかけ、多くの組合員が餅つきの体験をすることができていました。**

組合員・教職員・店長・パートさんが一丸となり、餅つき企画を盛り上げ、「生協っていいな」を作ることができていました。



POINT.3

合言葉は「コロナに負けないで」



今回の餅つき企画のポスターには、「コロナに負けないで」がテーマとなっていました。**コロナの影響で対面企画に規制がありますが、大学との連携をしっかり取ることができています。**また教職員理事と学生の距離が近く、学生に寄り添っている姿が見受けられました。

京都経済短期大学生協が一丸となり、**コロナに負けずに「生協の魅力」を伝えることができており、多くの組合員がより良い生活を送る手助け**になっています。